

第4学年東組 社会科学習指導案

「自然の魅力を生かし、持続可能な観光地を目指す小豆島町」

学習指導者 網野 未来

1 学級（35名）の実態

（1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

〔問題を発見する力〕

質問紙調査によると、「社会科で、自分が知りたいことは何かを見付けようとしている」「社会科で、疑問や不思議なことが思いうかぶ」と答えた子供はともに31名であった。しかし、写真を見て疑問を表出する個別調査を行ったところ、三分の一ほどの子供はあまり疑問が思いうかばなかったり、考えたことをうまく表現したりすることができず、問題を発見することが難しい様子が見られた。

（2）教科に関する学級の実態

教科に関する質問紙調査によると、全ての子供が、分からないことや不思議なことを解決するために友達と話し合っ解決することを大切だと捉えている。理由として、自分とは違う考えに触れ、考えを深められることや、友達と話し合うことで課題の解決により近づけることを挙げている。小豆島町の特徴については、全ての子供がオリーブについて言及できているが、オリーブ以外の自然については詳しく知らない。

本単元で習得させたい「問題を発見する方法」

分かったことや驚いたことを基にさらに知りたいことを見付ける

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、自然環境を保護・活用しながら、持続可能な観光地を目指したまちづくりを進めている小豆島町の特徴を明らかにする。大単元「わたしたちの県のまちづくり」の導入で、三金時や瀬戸大橋などの特徴を生かした坂出市のまちづくりについて想起した子供たちは、地図を基に他の市や町の特徴についても考えていく。その中で県の様子の学習や校外学習を想起し、高松市、小豆島町、丸亀市のまちづくりについて調べていく見通しをもつ。まず国際交流が盛んな高松市のまちづくりについて学ぶ。そして地図や写真などから小豆島町の自然について知った子供たちは、分かったことや驚いたことを基に問題を発見していく。例えば、「オリーブを収穫するのが分かったから、何かイベントをしているのではないかな」「私は寒霞溪がとても美しいと思ったよ。なぜこんなにきれいなのか気になったよ」「僕は棚田のことが気になったよ。何を作っているのか知りたいな」などと一人一人が問題を見付け、疑問をもつ。そして自然を生かした小豆島町のまちづくりという単元の課題の解決に向けて様々な資料を使いながら調べていく。例えば立場を広げ、行政や企業、住民が協力してオリーブを後世に残そうとしていることや、住民が町やボランティアと協力しながら棚田を守っていることを知る。また時間的視野を広げ、寒霞溪の景観が守られてきた歴史について知る。このような学習を通して、町の人々がオリーブや寒霞溪、棚田などの自然環境を保護・活用しながらまちづくりを進めていることを理解する。さらに、オリーブ公園や寒霞溪では無料のサービスで観光客を増やそうとしている一方で、中山地区の虫送りでは火手を有料にしたことについて疑問を抱き、町のこれからの発展と関連付けながらその理由を考え話し合っていく。

住民も観光客も町の自然や文化を大切にする、持続可能な観光地を目指す小豆島町のまちづくりについて理解した子供たちは、丸亀市の人々も地域の特徴を生かしながら持続可能なまちをつくらうとしているのかに興味をもって次単元の学習を進めていこう。そして県内の特色ある地域について学習する中で、県民の一員として、特色ある地域への誇りが育っていくであろう。

3 単元計画と単元構成の工夫 (本時 6/7)

| 次 | 学習の流れ | 単元構成の工夫 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|---|------------------|-------------|---------------|-------------|---------------|------------|------|-------|------|--|--|--|------------------|--|
| 一 | <p>① 小豆島町はどんなところだろう</p> <p>校外学習を想起したり地図や写真を見たりして、オリーブや寒霞溪、中山千枚田などの自然が広がっていることを知り、学習の計画を立てる。</p> | <p>【魅力的な目標を子供と共有する場】①</p> <p>大単元の導入で、3学期の総合的な学習で外国の人と交流していくという計画や春と秋の校外学習の経験との関連から、まず高松空港のある高松市（5時間）、次にオリーブが有名な小豆島町、そしてうちわが有名な丸亀市（5時間）、最後に自分が気になる地域（3時間）のまちづくりについて調べることで、坂出市以外の市や町には、どんな特色があり、どのようにまちづくりに生かしているのかを明らかにするというゴールを共有している。本単元の①時間目には、そのゴールを確認してから、小豆島町の特色について資料を基に調べる時間を取る。そして小豆島町には坂出市にはない魅力的な自然が存在し、全国的にも有名であることに気付かせる。そして、それらの自然とまちづくりのつながりについて予想させ、小豆島町の特色あるまちづくりについて</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 二 | <p>②③④ 小豆島町の人々は、豊かな自然を生かしてどんなことをしているのだろう</p> <p>「小豆島町の人々は、オリーブをどのようにまちづくりに生かしているのか」「小豆島町の人々は、寒霞溪をどのようにまちづくりに生かしているのか」「小豆島町の人々は、中山千枚田をどのようにまちづくりに生かしているのか」といった課題について、資料やまとめ方を自分で選択しながら、調べまとめる。</p> <p>⑤ 調べて分かったことを発表しよう</p> <p>調べたことを共有し、小豆島町では、行政、企業、住民が一体となってオリーブを育て、守り、農業や観光業に生かしていること、寒霞溪を多くの人に楽しんでもらうために、景観の保全や魅力の発信をしていること、中山地区では、棚田の景観を守り、生かしながら、虫送りや農村歌舞伎を行っていることを理解する。三つの自然を生かしたまちづくりについて比較する中で、虫送りの火手を有料にしたことについて疑問をもつ。</p> <p>⑥ 中山地区の人々は、なぜ虫送りの火手を有料にしたのだろう</p> <p>虫送りの火手を有料化した理由について話し合い、住民にとっても観光客にとっても、持続可能な行事にしたいという思いがあることを理解する。</p> | <p>調べていく計画を立てられるようにする。</p> <p>【大単元の学習計画】</p> <div data-bbox="938 884 1428 1086" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>他の市や町では、どのような特色があり、どのようにまちづくりに生かしているのだろう</p> <p>三金時や瀬戸大橋を生かした坂出市→他の市や町では…?</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">坂出市の地図</td> <td>坂出三金時 写真</td> <td>高松空港の 写真</td> <td>オリーブの 写真</td> <td>うちわづくりの 写真</td> </tr> <tr> <td>瀬戸大橋 写真</td> <td>①高松市</td> <td>②小豆島町</td> <td>③丸亀市</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">↓ ④自分が気になる市や町</td> </tr> </table> <p>〈これから調べていくこと〉</p> </div> <p>【子供が自ら選択して、学びを進める時間】②～④</p> <p>小豆島町がオリーブや寒霞溪、棚田をどのようにまちづくりに生かしているのか理解できるようにするために、一人一人が設定した課題に沿って、調べる時に使う資料（教師作成の資料や観光パンフレット、インターネット）やまとめる時に使うもの（ノートや学習支援アプリ）、学習形態（一人で、友達と）について選択できるようにして、自分に合った方法で調べ学習に取り組めるようにする。</p> | 坂出市の地図 | 坂出三金時 写真 | 高松空港の 写真 | オリーブの 写真 | うちわづくりの 写真 | 瀬戸大橋 写真 | ①高松市 | ②小豆島町 | ③丸亀市 | | | | ↓ ④自分が気になる市や町 | |
| 坂出市の地図 | 坂出三金時 写真 | 高松空港の 写真 | | オリーブの 写真 | うちわづくりの 写真 | | | | | | | | | | | |
| | 瀬戸大橋 写真 | ①高松市 | ②小豆島町 | ③丸亀市 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ↓ ④自分が気になる市や町 | | | | | | | | | | | | | |
| 三 | <p>⑦ 小豆島町の人々は、豊かな自然をどのようにまちづくりに生かしているのだろう</p> <p>これまでの学習を振り返り、学習問題についての考えをまとめる。さらに、小豆島町がこれからも持続可能な観光地になるために大切なことを考える。</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【さらに知りたいことリスト】①～⑦

| 認知①～④ | 想起⑤～⑦ |
|---|--|
| <p>①～④の振り返り場面で、「その時間に分かったことや驚いたことを基にさらに知りたいことを見付ける」という問題を発見する経験をしている。</p> | <p>⑤～⑦の振り返り場面で、「さらに知りたいことを見付けるにはどうすればよかったかな」などと問いかけ、方法を想起させ、問題を発見できるようにする。</p> |
| 実感 | |
| <p>学習課題について分かったことを全体で確認した後に、本時の学びを基に、一人でまたは友達とさらに知りたいことを見いだす場を設けることで、次時への意欲をもてるようにする。方法を用いて問題を発見している様子を価値付けたり、問題を発見した後に、問題を発見できたことや次時に向けて意欲が高まっている様子を称賛し、方法の有用性を感じられるようにする。</p> | |

5 本時の学習

| | |
|--------|--|
| 目 標 | 中山地区の人々が虫送りの火手を有料にした理由を考え話し合う活動を通して、虫送りをこれからも続け、住民と観光客の両方にとって持続可能な伝統行事にしたいという思いがあることを理解することができる。 |
|--------|--|

| 学習活動と手立て | | 主な子供の意識 | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|---|--|---|---------------------------------|---|---|--|---|--|--|---|
| 見 通 し | 1 学習課題を確認する。 | <p>小豆島町のまちづくりについて学習していたよ。前の時間は、中山地区の人々が棚田を生かして虫送りをしたり、作物が実ったことを感謝するために農村歌舞伎をしたりしていることが分かったよ。</p> <p>オーリーブ公園や寒霞溪では無料のサービスで観光客を集めようとしていたのに、中山地区では、無料だった火手を3,500円にしたことが不思議だったよ。</p> | | | | | | | | | | |
| | 中山地区の人々は、なぜ虫送りの火手を有料にしたのだろう | | | | | | | | | | | |
| 行 動 | 2 火手を有料にした理由を話し合う。 | <p>火手を有料にしなければならない理由が何かあるのだろう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">火手は30人くらいで作っていたよ。有料にして作った人に給料として渡すためじゃないかな。</td> <td style="width: 25%;">火手を作るには竹やタオル、針金などの材料が必要だったね。材料の費用にするためじゃないかな。</td> <td style="width: 25%;">住民が裏方でサポートしていたよ。有料にしたら、警備する人を雇って住民は火手を持って歩けるね。</td> <td style="width: 25%;">虫送りはこれまで中止になることがあったよ。これからも続けていくためにはお金が必要だよ。</td> </tr> </table> <p>火手を有料にしたら本当に続くのかな。そもそも有料になったら、観光客は虫送りに来なくなるんじゃないかな。観光客の立場になって考えてみよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">観光客は来なくなるんじゃないかな。だって、無料で虫送りを楽しめる方がいいよ。</td> <td style="width: 33%;">観光客は来ると思うな。だって、火手を持たなくても無料で見たり写真を撮ったりできるよ。</td> <td style="width: 33%;">観光客は来るよ。だって、有料でも火手を持ちたいと思っている人はお金を出すと思うな。</td> </tr> </table> <p>火手は無料の方がいいという考えもあるけれど、無料で楽しめるし、火手を持ちたいと思っている人は買うと思うから、観光客は来てくれそうだね。</p> | | | | 火手は30人くらいで作っていたよ。有料にして作った人に給料として渡すためじゃないかな。 | 火手を作るには竹やタオル、針金などの材料が必要だったね。材料の費用にするためじゃないかな。 | 住民が裏方でサポートしていたよ。有料にしたら、警備する人を雇って住民は火手を持って歩けるね。 | 虫送りはこれまで中止になることがあったよ。これからも続けていくためにはお金が必要だよ。 | 観光客は来なくなるんじゃないかな。だって、無料で虫送りを楽しめる方がいいよ。 | 観光客は来ると思うな。だって、火手を持たなくても無料で見たり写真を撮ったりできるよ。 | 観光客は来るよ。だって、有料でも火手を持ちたいと思っている人はお金を出すと思うな。 |
| | 火手は30人くらいで作っていたよ。有料にして作った人に給料として渡すためじゃないかな。 | 火手を作るには竹やタオル、針金などの材料が必要だったね。材料の費用にするためじゃないかな。 | 住民が裏方でサポートしていたよ。有料にしたら、警備する人を雇って住民は火手を持って歩けるね。 | 虫送りはこれまで中止になることがあったよ。これからも続けていくためにはお金が必要だよ。 | | | | | | | | |
| | 観光客は来なくなるんじゃないかな。だって、無料で虫送りを楽しめる方がいいよ。 | 観光客は来ると思うな。だって、火手を持たなくても無料で見たり写真を撮ったりできるよ。 | 観光客は来るよ。だって、有料でも火手を持ちたいと思っている人はお金を出すと思うな。 | | | | | | | | | |
| 3 火手を有料にした理由についてまとめる。 | <p>火手を有料にした理由は何だと言えそうかな。</p> <p>住民が火手を持って歩きたい観光客から集めたお金を人件費や材料費に使って、虫送りをこれからも続けていくためだよ。</p> <p>話し合ったことを資料で確かめてみよう。</p> <p>火手を有料にすることで、虫送りをこれからも続けられて、住民も観光客も楽しむことができるね。住民と観光客の両方が参加できることが大切だね。</p> | | | | | | | | | | | |
| 4 本時の学習を振り返る。 【さらに知りたいことリスト】 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">友達の考えも参考にしながら、自分の考えをつくることができたよ。</td> <td style="width: 50%;">一つだけではなく、様々な視点から考えをつくれるようにしたいな。</td> </tr> <tr> <td>どれくらいの人に参加したのか知りたい。</td> <td>参加した観光客はどう思っているか知りたい。</td> <td>中山地区と同じような組はないか知りたい。</td> </tr> </table> | | | | 友達の考えも参考にしながら、自分の考えをつくることができたよ。 | 一つだけではなく、様々な視点から考えをつくれるようにしたいな。 | どれくらいの人に参加したのか知りたい。 | 参加した観光客はどう思っているか知りたい。 | 中山地区と同じような組はないか知りたい。 | | | |
| 友達の考えも参考にしながら、自分の考えをつくることができたよ。 | 一つだけではなく、様々な視点から考えをつくれるようにしたいな。 | | | | | | | | | | | |
| どれくらいの人に参加したのか知りたい。 | 参加した観光客はどう思っているか知りたい。 | 中山地区と同じような組はないか知りたい。 | | | | | | | | | | |

| | |
|--------|---|
| 評 価 | 虫送りの火手を有料にした理由について、様々な資料を基にしたたり友達と交流したりしながら多様に考え、虫送りをこれからも続けられて、住民も観光客も楽しむことができるなど考えたことを表現している。また、さらに知りたいことを見付けている。 【方法：発言、様相、記述】 |
|--------|---|

6 本時の詳細

～見通し～ **学習活動1**

前時までに、小豆島町の人々のオリーブや寒霞渓、棚田を生かした取組について学習している。また、既習内容を補助黒板にまとめておき、前時までの学習内容を想起する際に使いやすくしておく。子供の発言に合わせて、補助黒板や振り返りカードに注目させることで前時までの学習の想起が難しい子供も想起しやすくなる。

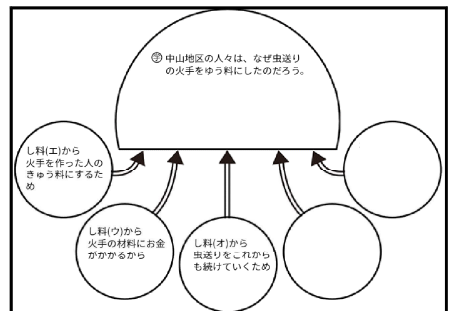
【前時までの学習内容をまとめた補助黒板】

本時ではまず、前時の学習内容を確認する。そして、本時考えていきたいこととその理由を問い、他

の地域では、公園の入園や駐車場の料金を無料にして多くの観光客に来てもらえるようにしているのに、逆に中山地区では、無料だった虫送りの火手を有料にしたことが不思議だったことを全体で共有することで本時の課題を明確にしていく。教師は、有料化について不思議であると感じている姿に、「確かにそれは不思議だね」などと共感し、課題解決への意欲が高まるようにする。

～行 動～ **学習活動2・3**

虫送りの火手を有料にした理由を考える際には、様々な考えられるワークシートに考えを表現していく。既習の虫送りに関する資料を参考にしながら考えをつかっていけばよいことを全体で確認する。一人で考えをつくるのが難しそうな場合は、虫送りについての既習を想起させたり、「集めたお金は何に使うのかな」と問いかけたりすることで、自分の考えをつくれるようにする。



【考えを表現するクラゲチャート】

全体で何を根拠に考えたのかを確かめながら考えを共有していく。その後、「観光客は虫送りに来なくなるのではないかと投げかけ、観光客でも有料化に対して様々な意見があることについて理解を深めるとともに、虫送りには無料の楽しみ方もある上に、有料になっても火手を持ちたいと思っている人は来てくれることをおさえない。その後、「火手を有料にした理由は何だと言えそうか」と問いかけ、住民は集めたお金を材料費などに充てることで、虫送りをこれからも続けていけるし、虫送りを楽しみたい観光客にとっても虫送りが続くとこれからも楽しめることにつながることに気付かせたい。話し合ったことは、中山地区の自治会長の方の話を資料を使って確かめる。分かったことを振り返りカードに記述させ、全体で確認することで、学びの成果を自覚できるようにする。

～振り返り～ **学習活動4**【さらに知りたいことリスト】

本時の学び方について、できたことや、もっとがんばりたいと思ったことという視点で振り返りを行う。記述内容を発表させ、できたことについては称賛する。その後、一人でまたは友達とさらに知りたいことを見いだす場を設ける。これまでの学習で出てきたさらに知りたいことの一部をテレビモニターに写したり、「さらに知りたいことを見付けるにはどうすればよかったかな」と全体に問いかけたりして、方法を想起しやすくする。見付けるのが難しそうな場合は、分かったことや驚いたことを個別に尋ね、さらに知りたいことについて一緒に考えることで見いだすことができるようにする。その後全体で確認し、本時の学びを基に問題を発見できたことについて、「分かったことや驚いたことを基に、さらに知りたいことを見付けられたね」と価値付け、方法を使うことのよさを実感できるようにする。

| | | |
|--------|---|--|
| 大きなめあて | 他の町や町では、どのような特色があり、どのようにまちづくりに生かしているのだろうか | |
| 学習課題 | 小豆島町の人々は、自然を生かしてどのようなまちづくりをしているのだろうか。 | |
| めあて | 今までの学習で分かったことをまとめよう。そして、自分の学び方はどうだったか、振り返ってみよう。 | |
| 日時 | ① 分かったこと | ② 学び方 |
| | 小豆島町の人々は、オリーブの歴史を紹介するためにオリーブ公園を作ったことが分かりました。 | 色々なサイトを使ってまとめられた。 もっとがんばりたいと思ったこと(興味) 紙のし料とサイトを両方使いたい。 |

【振り返りカード】

| 今調べたり考えたりして分かったことや、おどろいたことをもとに見つけよう! | | | |
|--------------------------------------|----|-------------------------------|-----------------------|
| No. | 日時 | さらに知りたいこと | 解決したか |
| 1 | | なぜこんなきれいなけい谷ができたのか。 | <input type="radio"/> |
| 2 | | 千枚田では、何が作られているのか。 | <input type="radio"/> |
| 3 | | オリーブのしゅうかくには、どれくらいの人々が来ているのか。 | <input type="radio"/> |

【さらに知りたいことリスト】